

## 第7回 河口湖整備検討協議会 議事概要

日時 令和8年3月24日(火) 14時00分～15時35分

場所 富士吉田合同庁舎 2階大会議室

議題 前回までの振り返り

ヨシ刈りおよび自然環境調査(臭気関連、動植物)の実施状況について  
今後の方針について

出席者

専門分野等	氏名	所属
有識者	輿水 達司	山梨県立大学特任教授
〃	荒井 正春	河口湖フィールドセンター
〃	山本 真也	富士山科学研究所 主任研究員
漁業	外川 新吉	河口湖漁業協同組合 総務理事長
	古屋 清春	河口湖漁業協同組合 事務理事長
観光	堀内 貴丈	富士河口湖町観光連盟 代表理事長
地元	渡辺 美雄	河口湖治水委員会 会長
魚類	大濱 秀規	山梨県漁業協同組合連合会 参事
		山梨県養殖漁業協同組合 常務理事
富士河口湖町	渡辺 正子	富士河口湖町 副町長
山梨県	望月 修一	山梨県 治水課 河川整備担当 課長補佐
オブザーバー	仲原 沙希	環境省 富士箱根伊豆国立公園管理事務所 富士五湖管理官事務所 国立公園管理官
〃	流石 恭史	山梨県議会 議員

---

## 1. 前回までの振り返り

事務局より、これまでの河口湖整備検討協議会の実施状況について説明を行った。

## 2. ヨシ刈りおよび自然環境調査の実施状況について

- ・ 事務局より、R7年に実施したヨシ刈りおよび自然環境調査（臭気関連、動植物）の実施状況を報告した。
- ・ 臭気関連調査では、ヨシ刈り前のR4年から大規模な水位低下が生じたR7年まで、カビ臭・ドブ臭は一貫して確認されず、大気・水質は臭気の苦情が無い対照地区と同程度の状態である。引き続きデータの蓄積が必要であるものの、検討箇所で顕著な臭気が発生するリスクは低いと言える。
- ・ 動植物調査では、ヨシ刈りに伴う動植物の生育・生息環境に顕著な影響は確認されなかった。また、植物は多くの重要種が確認され、山梨県内においても貴重な環境が維持されていると言える。動植物の生育・生息状況は、水位変動等の環境変化によっても左右されるため、注視する必要がある。
- ・ ヨシ刈りによる有機物・栄養塩の堆積抑制効果については、平面的な特徴と時間変動を把握するため、来年度も底質の調査を実施する。

## 3. 今後の方針について

- ・ ヨシ刈りの範囲や方法については、R4年からR7年までと同様を基本とし、水位低下等により範囲を変更したい場合は、事前に地元関係者の同意を得る。
- ・ 自然環境調査（臭気関連、動植物）は、第6回協議会で合意された方針の通りR9年まで継続する方針を基本とする。
- ・ 今後の協議会は年1回、会議形式で開催する。マスメディア等を通じた協議会の広報も検討する。
- ・ ヨシ刈り活動やその取組成果について、住民や観光客等、より多くの人に情報発信することを検討する。
- ・ 次回の協議会において、今後の本協議会の方向性を示す。